

# 9月の園だより

令和5年度 川崎保育園  
文責：水落



## 本園の保育のねらい



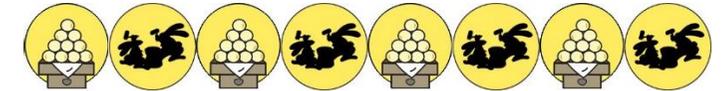
スポーツの秋ももうすぐ！本園で行っている、体育ローテーションの3つの魅力について書かせていただきます。

**主 題：社会や自然の恵みに感謝しよう（報恩感謝）**  
**生活目標：番組は 選んでみよう 姿勢よく**

この夏も、とてもとても暑い日が続きました。連日37℃を超える予報。「危険な暑さ」や「災害級の暑さ」ということばに耳が慣れてしまったかのように思います。私の知り合いのところに、ベトナムやカンボジアなどから技術修習生として来日されている方がおられるそうですが、その方々が「日本の夏は暑い！」と、悲鳴を上げておられるそうです。日本も熱帯化しつつあるのかもしれない。

しかし、確実に秋の気配が近づいています。日中はまだまだ厳しい残暑が続いていますが、朝晩はずいぶん涼しくなってきました。アブラゼミやクマゼミたちの大合唱から、ツクツクホウシや草むらの虫の声に変わってきています。園庭の柿や銀杏の実も、ほんのりと色づいてきました。あちこちに「小さい秋」を見つけられるようになっています。

さあ、いよいよ秋。「実りの」「読書の」「スポーツの」「食欲の」などさまざまなことばで表されるように、いろいろな活動をおこなうのにもっとも適した季節です。体育ローテーションなど、あまりの暑さに制限せざるをえませんでした。これから、日々の活動はもちろん、親子運動会をはじめとするさまざまな行事など、充実した秋にしていきたいと考えています。



### ・自然な流れの中の運動であること

体育ローテーションでは、さまざまな運動器具を組み合わせ、それを連続して経験することで、まるで自然環境の中にいるようなダイナミックなあそびを作り出しています。特定のスポーツになると活動は単調になりがちですが、本来の自然に近い、山あり谷ありといった環境を設定して、小さな身体に備わった運動の諸機能をフル活用できるよう工夫されています。



### ・仲間と取り組む集団遊びであること

どの子にも備わる運動本能を刺激して、体験を促すはたらきかけの主体が、同じリズム、動きを共にする仲間たちです。互いに動きを学び、「まねびあう」仲間です。みんなと身体を動かすことが楽しい、がんばることが楽しい、共振する、共感するという「よろこび」が、集団活動としての体育ローテーションの魅力といえます。

### ・身体の機能を使いつくす「快」にあふれていること

「からだを動かしたい」「もっと友だちと仲良くしたい」など発達の欲求に充ちたエネルギーが、体の中に飽和した状態にあるのが、本来的な子どもの姿だといえます。それを朝一番の体育ローテーションで「ああ、楽しかった」とやりきる。自らの内部にある年齢相応な機能を使いつくすことで、子どもはよろこび＝快に満たされます。  
(『総研ブックレット 動きと身体』秋田光彦著より)

## 9月の行事予定

- 1日(木) 安全の日
- 26日(火) お楽しみ給食
- 29日(金) 中秋の名月

## 10月の行事予定

- 7日(土) 親子運動会
- 27日(金) 親子遠足

※ 詳細については後日ご案内します

## 新しい職員の紹介です！

